

# 一般質問通告書

下記の件について、質問いたしたく通告いたします。

令和2年6月11日

会 派 名 フェアな市政

多摩市議会議員 岩永ひさか

多摩市議会議長 藤原 マサノリ 殿

## 質問項目

1 新型コロナウイルス感染症の影響と今後の対応について

## 答弁者

市長・教育長等

受付	令和 年 月 日	No.
	午前・午後 時 分	

## 項目別質問内容

<p>私たちがこれから実践しなければならない、「新しい生活様式」は、「密」を避けたくらしづくりを進めていくことであり、従来の発想に縛られず、より身近なコミュニティを重視し、大切にした分散型地域づくりをめざす取り組みを進めることだと考えています。</p>
<p>既に、次年度以降、財政環境が厳しさを増すことが予測されているようですが、これまで前提としてきた将来の財政見通し、それに基づく計画についても見直しが迫られていると受け止めています。</p>
<p>今後、新型コロナウイルス第2波、第3波への備えはもちろんのこと、現在、大打撃を受けた市民の暮らしに向き合い、市民に最も身近な存在として担わなければならないセーフティネットを今こそしっかりと機能させるべきと考え、以下、質問いたします。</p>
<p>(1) 第2波、第3波に備えた危機管理に向けた取り組み</p>
<p>①市全体の業務継続や業務の在り方についても課題が把握され、認識されたことと思います。その内容と今後に向けた対応について伺います。</p>
<p>②「密」にしない避難所の在り方の検討は急務です。今後、複合災害の危険性も言われる中、避難所設置にあたって重視すべき視点をどのように整理しているか、今後のマニュアルなど策定スケジュールや体制などについて伺います。また、市域に10館ある児童館を担う職員が「地域の人をも含めた『地域特性』を知っている」という点で、地域を見守るという立場から、災害時に果たせる役割は大きいと考えていますが、それに対する認識、あわせて分散型地域づくりを支える「地域担当職員」への取り組みの進捗状況も伺います。</p>
<p>(2) 新型コロナウイルス感染症対策と「未来への投資」の両立について</p>
<p>①従前より課題となってきた「公共施設の再配置、維持管理、存続」問題についても、拠り所にしてきた財政見通しは変更を余儀なくされ、改めて見直しが求められると考えています。今後の取り組みについて伺います。また、図書館本館再整備、旧北貝取小学校大規模改修、本庁舎建替え問題の今後についての考え方、向き合い方について伺います。</p>
<p>②国や東京都は新型コロナウイルス対策における「ひとり親家庭」への支援を強化し、多摩市も交付金を活かし、ひとり親等臨時特別給付金を実施することになりましたが、生活困窮にある「ふたり親・低収入・子育て」世帯への支援の必要性が語られていません。現状認識や今後の対応について伺います。</p>

